

Attainment Company



ユーザーガイド

目次

1 GoTalk NOWを始めましょう	1
1.1 クイックスタート	1
2 GoTalk NOW プレーヤーの使い方	4
ページエディタの使い方	5
3.1 ブックに新規ページを追加する	5
3.1.1 ページウィザード	6
3.2 ページオプションの設定	6
3.3 ページラベル	8
3.3.1 ページラベルタイトル	8
3.3.2 ページラベルアイコン	8
3.3.3 ページのオーデイトリーキュー	9
3.4 メッセージロケーションの作成	9
3.4.1 背景色と境界線の色	9
3.4.2 ボタンテキスト	10
3.4.3 メッセージロケーションに画像を追加する	11
3.4.4 画像の編集	12
3.4.5 メッセージロケーションにアクションを追加する	13
3.4.6 メッセージロケーションのオーデイトリーキュー	14
3.4.7 メッセージロケーションをコピー、ペースト、交換、削除、非表示	14
3.5 クイックボタン	15
3.6 ページとテンプレートの管理	15
4 シーンコミュニケーションページの作成	16
4.1 シーンコミュニケーションページにメッセージロケーションを追加	16
5 キーボードページの使い方	18
6 エクスプレスページの使い方	19
6.1 ブックにエクスプレスページを追加する	19
6.2 メッセージバーの使い方	19
6.3 エクスプレスページのオプション機能	20
6.4 メッセージバーのコンテンツを共有	20
7 ページテンプレートの作成と共有	21
7.1 テンプレートの作成	21
7.2 テンプレートをメールで共有する	22
7.3 オンラインギャラリーの共有	22
7.4 オンラインギャラリーから無料の既製ページを使用する	23
8 コミュニケーションブックの作成、削除、共有	25
8.1 WiFiネットワークでのブロードキャスト共有	26
8.2 AirDropまたはメールでの共有	26
8.3 コミュニケーションブックをPDFページとしてエクスポートする	27
9 コミュニケーションブックのバックアップ	28
9.1 iTunes経由でのコンピューターへのバックアップ	28
9.1.1 Finder経由でのコンピューターへのバックアップ	29
9.2 DropboxまたはGoogle Driveへのバックアップ	30
9.3 その他クラウドへのバックアップオプション	32
10 選択スキャンとスイッチアクセスサポート	33
11 GoTalk NOW アプリの設定	34
GoTalk NOW ストア	38
お問い合わせ先	39



ユーザーガイドのPDFをiBooksアプリで開くと、全ページ表示やテキスト検索ができます。

GoTalk NOW を使用して、インタラクティブなメッセージボタンを備えたコミュニケーションブックを作成ができます。また、画像を使用してメッセージが再生できるホットスポットのあるシーンページの作成や、キーボードページでは、内蔵された単語予測機能やテキストの読み上げ機能を使用したメッセージ入力ができます。

ホーム画面のヘルプボタンから、ユーザーガイドやビデオチュートリアルへアクセスできます。**GoTalk NOW**を知るには、自身のコミュニケーションページを作成してみるが一番です。以下の**クイックスタート**の手順を通して、基本的な知識を身につけましょう。

1.1 クイックスタート

1. ホーム画面で**ページエディタ**  をタップします。まだブックが作成されていない場合は、デフォルトブックの最初のページが開きます。



ページエディタを終了するには、ホームボタンをタップするか、iPad画面を3本指で下へスワイプします。ページエディタへのアクセスを制限するには、プレーヤーを終了する際のパスワードを設定します。(アプリ設定 35ページを参照)



図 1-1 4つのメッセージロケーションがあるコミュニケーションページです。メッセージロケーションをタップすることで音声やビデオの再生、別のページへの移動、Webページを開くことができます。



図 1-2 選択したブックのタイトルが、ホーム画面の下部に表示されます。**GoTalk NOW LITE**と **GoTalk Start**では1ブックのみの使用に制限されているため、タイトルは表示されません。



図 1-3 **ページエディタ**を使用してメッセージロケーションをページに追加します。ページは1、2、4、9、16、25、または 36 個のメッセージロケーションに分割できます。各ボタンに異なった外観とアクションを設定することができます。メッセージロケーションの表示エリアは空白のまま使用することも可能です。

2. ページオプション  をタップします。「ボタン」からページ内に表示するメッセージロケーションの数を設定します。「背景色」からページの背景色の設定ができます。ページをブックで表示するには「有効」をオンにしておく必要があります。
3. メッセージロケーションをタップします。選択したボタンに「ボタンテキスト」と表示され、メッセージロケーションのデフォルトテキストとなります。画面上に編集ツールが表示され、テキストの調整、ボタンの外観の変更、アクションの追加ができます。



図 1-4 ページオプションから、ページの背景色やメッセージロケーションの数を設定できます。プレーヤーでページを表示させるには有効を「オン」に設定する必要があります。オーディトリリーキューのスクランについては14ページを、エクスプレスページについては 19ページ を参照してください。

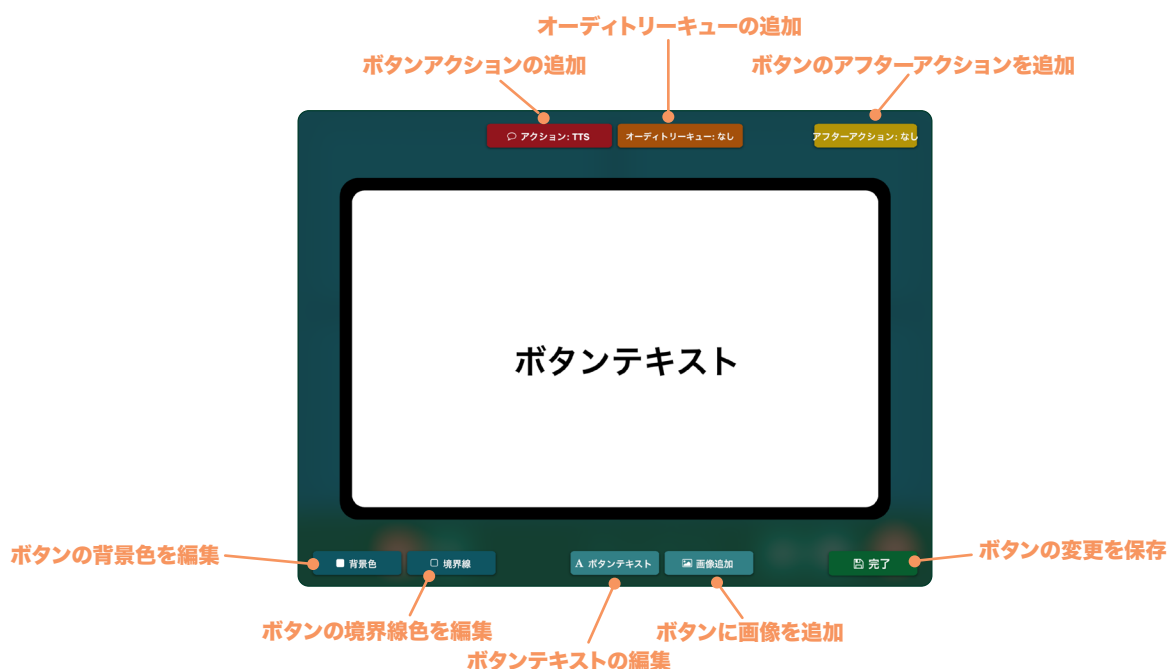


図 1-5 ページエディタでメッセージロケーションを選択すると、編集しやすいようにボタンが拡大されます。背景色、境界線の色、テキスト編集、画像の調整ができます。メッセージロケーションには、アクションを割り当てる必要があります。(テキストを再生するための「テキスト読み上げ」アクションがデフォルトで設定されます。)

4. メッセージロケーションを選択した状態で、「背景色」と「境界線」ツールを使用してメッセージロケーションの色を選べます。「ボタンテキスト」の設定 からテキストの編集やサイズ、フォントスタイル、テキストの色の変更のほか、ドロップシャドウ効果を加えることもできます。



図 1-6 ボタンテキストタブからは、メッセージロケーションのテキスト内容を変更するための設定ができます。

セクション 1 GoTalk NOW を始めましょう



GoTalk Image Library

からイラストやシンボルを使用するには、ホーム画面から**ダウンロード**にアクセスします。GoTalk NOW ユーザーは無料でイメージライブラリの使用ができます。



メッセージロケーションに**オーディオ**リーキューを追加する方法については14ページを参照してください。メッセージロケーションに**アフターアクション**を追加する方法については14ページを参照してください。

5. 「画像追加」ツールからメッセージロケーションに画像の追加ができます。複数の画像を追加することが可能です。指でドラッグして画像の配置を行い、ピンチイン・アウトでサイズを変更します。



図 1-7 画像追加タブからは、メッセージロケーションに複数の画像を追加することができます。

6. 赤い「アクション」ボタンをタップして、メッセージロケーションにアクションを割り当てます。デフォルトのアクションは「テキスト読み上げ(TTS)」で、テキストの読み上げを行います。「音声録音」ではiPadのマイクを使用してメッセージの録音ができます。その他のアクションには「ジャンプ」(別のコミュニケーションページへ移動)、「Media Player」(iPadの曲リストからオーディオを再生)、「URL」(webページを開く)、「GoVisual」(AttainmentのアプリGoVisualを起動し、シーンを開く)「Hue Light Control」、「ビデオ」などがあります。
7. 「完了」をタップし完成したメッセージロケーションを保存します。
8. ページ編集画面の下部にある「ページタイトル」をタップし、ページタイトルの編集やタイトルの横に画像を追加することができます。「フォント設定」をタップしてタイトルテキストを編集し、「アイコン」ボタン からアイコン画像を追加します。「オーディトリークュー」機能については 14ページ で説明しています。ページタイトルの編集が完了したら、「完了」をタップします。
9. 新しいページを追加するには  をタップし、新規ページメニューから「新規ボタンページの追加」を選択します。ブックに複数のページがある場合は、ブックの最後のページに「+」ボタンがあります。
10. **クイックボタン**  をタップして、ブック全体で利用できるメッセージロケーションを4つまで追加することができます。ページの任意の箇所をタップして、クイックボタンを閉じます。クイックボタンの詳細については、15ページを参照してください。
11. ホーム画面に戻り、**プレーヤー**をタップしてコミュニケーションブックを開きます。GoTalk NOW プレーヤーについての詳細は、4ページを参照してください。

プレーヤーを終了するには、iPad画面を3本指で下にスワイプするか、ホームボタンを8秒間押し続けます。プレーヤーを終了するための4桁のパスワードをアプリの設定から追加することもできます。

GoTalk NOW LITE と GoTalk Start のコミュニケーションブックは1つまでに制限されています。これらのアプリを使用する場合、ブックのタイトルはホーム画面の下部に表示されません。

ホーム画面左下にあるFeedbackアイコンをタップして、GoTalk NOW サポートチームに質問やコメントを送信することができます。

1つ以上のコミュニケーションページを含むコミュニケーションブックを作成した後、ホーム画面のプレーヤーをタップしコミュニケーションブックを使用します。選択したブックのタイトルは、ホーム画面の下部に表示されます。別のブックを選択するには、ホーム画面下部のブックタイトルをタップすると利用可能なブックのリストが表示されます。**GoTalk NOW LITE** か **GoTalk NOW Start** の場合、利用できるブックは1つのみです。

- ホーム画面から**プレーヤー**  ボタンをタップし、選択したコミュニケーションブックを開きます。
- 「メッセージロケーション」をタップし割り当てられたアクションを再生します。



図 2-1 ホーム画面からプレーヤーをタップし、コミュニケーションブックを開きます。



図 2-2 プレーヤー画面の下部にナビゲーションバーが表示されます。アプリの設定からナビゲーションボタンの制御設定ができます。(アプリの設定については 34 ページを参照してください。)

- 左右の「ナビゲーション」ボタンをタップしページをめくります。
- 「ホーム」ボタンをタップし、ブック内の最初のページに戻ります。
- 「戻る」ボタンをタップし、直前に表示されていたページに戻ります。
- 「ジャンプ」ボタンをタップし、利用可能なページリストを開き、ダブルタップで移動します。
- 「クイックボタン」をタップし、クイックボタンメッセージを使用します。(クイックボタンについての詳細は 15 ページ を参照してください。)



図 2-3 クイックボタンをタップし、追加のメッセージロケーションを使用できます。



ページエディタを終了する

するには、ホームボタンをタップするか、iPad画面を3本指で上方向にスワイプします。使用中のページエディタへのアクセスを制限するには、プレーヤーを終了する際にパスコードを要求するようにします。(35ページのアプリ設定を参照)

ホーム画面のページエディタ ボタンをタップし、コミュニケーションページの作成と編集を行います。

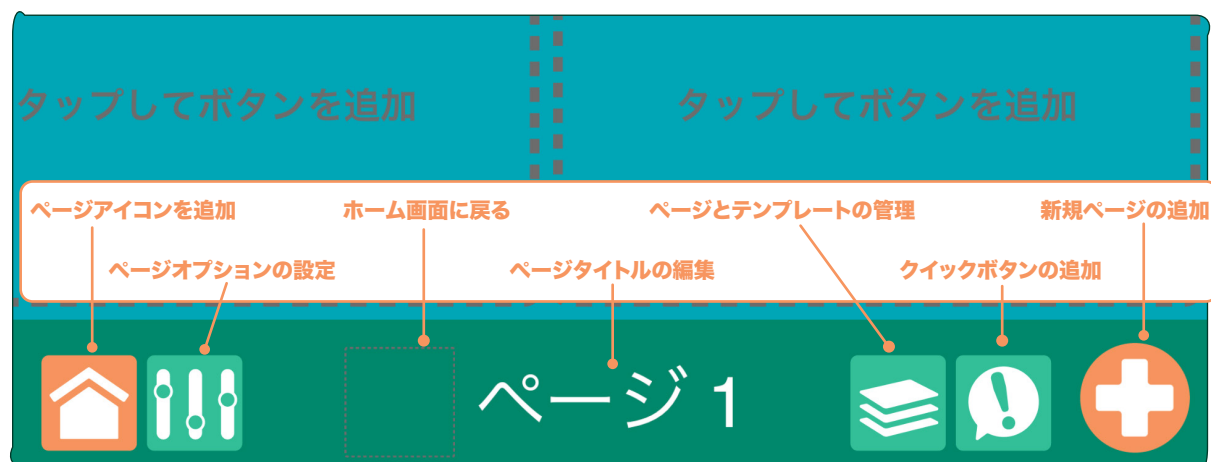


図 3-1 ページエディタを使用して、ページにメッセージロケーションを追加します。ページは1、2、4、9、16、25、36のメッセージロケーションに分割することができます。メッセージロケーションごとに、異なった外観とアクションを設定することができます。使用可能なすべてのボタンをメッセージロケーションとして使用する必要はありません。最大4つまでのクイックボタンのメッセージロケーションをブックに追加することができます。(クイックボタンの使い方については 15ページ を参照してください。)

3.1 ブックに新規ページを追加する

新しいページは、コミュニケーションブックを追加するさまざまな方法を提供する「新規ページメニュー」から追加できます。ブックの最後のページに表示されている「+」ボタン から新規ページメニューを開きます。選択肢は下から上に並べられています：

新規ボタンページの追加： 空白のページを挿入して、新しいメッセージロケーションを追加します。

新規シーンページの追加： メッセージロケーションの代わりに、ページコンテンツに画像を使用し、画像にタッチセンサー式ホットスポットを追加します。(16ページを参照)

Kキーボードページ： 単語予測機能が組み込まれたiPadキーボードを使用してメッセージを入力できます。完成されたメッセージは「テキスト読み上げ」の音声で再生されます。(18ページを参照)。

ページウィザード： テキストアイテムを入力して、ページのメッセージロケーションのセットをすばやく作成します。(後述のセクション3.1.1 を参照)

ページの複製： ブックからページをコピーして、既存のメッセージロケーションを編集します。

他のブックからインポート： 他のブックからページをコピーします。

、、 **ダウンロード済みテンプレート、マイテンプレート、オンラインギャラリー：** テンプレートのオンラインギャラリーから既製のページを使用します。(21-24 ページを参照)



図 3-2 新しいページの追加方法の1つに 新規ページメニューがあります。新規ページメニューはブックの最後のページにある「+」ボタンで開きます。「ページの管理」タブから開くこともできます。

3.1.1 ページウィザード

ページウィザードは、コミュニケーションページを簡単に作成し、すべてのメッセージロケーションにボタンテキストを追加することができる **GoTalk NOW** の機能です。ページウィザードは、追加されたボタンテキストの数に基づき、1、2、4、9、16、25、または 36 のメッセージロケーションを含むページを作成します。ボタンテキストを空白にすると、メッセージロケーションの代わりに空のスペースがページ上に配置されます。

ボタンテキストを入力する前に「ライブラリから画像を追加」を選択すると、ページウィザードは選択したイメージライブラリからメッセージロケーションに画像を自動的に追加します。一致する画像が見つからない場合は、ボタンのテキストのみがメッセージロケーションに表示されます。画像が見つからない場合は、ボタンのテキストのみがメッセージロケーションに表示されます。



図 3-3 ページウィザードで最大36のロケーションボタンのボタンテキストを追加し、「完了」をタップすると、すべてのメッセージロケーションがページ上に配置されたページが作成されます。



図 3-4 ライブラリから画像を追加オプションを使用して、メッセージロケーションに追加されたボタンテキストに関連する画像を自動的に追加します。一致するものが見つからない場合には、ボタンのテキストのみがメッセージロケーションに表示されます。

3.2 ページオプションの設定

「ページオプション」ボタンではコミュニケーションページのレイアウトと外観設定ができます。



図 3-5 ページオプションボタンを使用して、ページの機能を調整します。

セクション 3 ページエディタの使い方

- **背景色:** ページの背景色の設定。色見本から選択するか、色選択ツールを使用します。

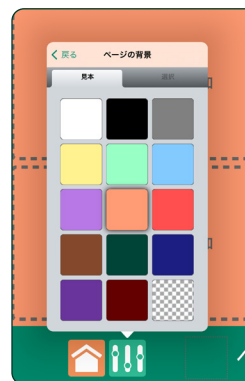


図 3-6 選択した背景色は、右下のグリッドパターンの見本ボタンに保存され、テキストや境界線にその色を割り当てる際に使用します。

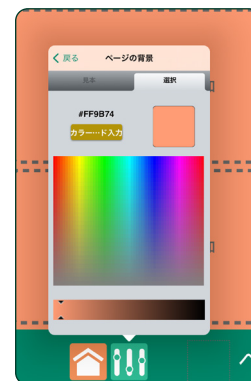


図 3-7 色選択ツールを使用すると、正確な色の選択と明暗の調整ができます。

- **ボタン:** コミュニケーションページの使用するメッセージポイントの数を選択します。(1、2、4、9、16、25、36)



図 3-8 コミュニケーションページには、1、2、4、9、16、25、36個のボタンをメッセージロケーションとして追加することができます。

オーディトリキューのスクリーンは、ページ上に4つ以上のページロケーションボタンがある場合にのみ、ページオプションとして表示されます。

ページに1つのボタンレイアウトが割り当てられている場合は、**自動アクティブボタン**がページオプションボタンの追加設定として表示されます。自動アクティブボタンが使用されると、コミュニケーションページを開いたときに自動的にメッセージロケーションがアクティブ化されます。

- **オーディトリキューのスクリーン:** 画面のナビゲーションや選択のために、行または列にオーディトリキュー（聴覚の手がかり）を割り当てます。アプリの設定でオーディトリキューが有効になっている場合は、アプリの設定で「グループ化」を選択して、行または列のスクリーンのいずれかを選択します。
- **有効:** この設定を「オン」にすると、ページがブック内に含まれ、プレーヤー画面で表示されます。ページを非表示にするには、この設定を「オフ」にします。
- **エキスプレスペース:** この設定を「オン」にすると、エキスプレスペースのコミュニケーションバーがプレーヤー画面のページ内に追加されます。この設定を「オフ」すると、コミュニケーションバーが消去されます。
- **ページ指定スクリーン:** 表示中のページでのみ、行、列、またはその他のグループでボタンを選択するための設定を上書きします。(35ページの「グループ化の設定」を参照)



図 3-9 行のオーディトリキュー: 聴覚スクリーンが使用されている場合、ページ上の各行は、音声録音またはテキスト読み上げキューを使用できます。



図 3-10 列のオーディトリキュー: 聴覚スクリーンが使用されている場合、ページ上の各列は、音声録音またはテキスト読み上げキューを使用できます。



目次

3.3 ページラベル

コミュニケーションページの下部には、ページラベルが表示されます。このラベルには、ページタイトル、ページアイコン、またはその両方が表示されます。また、ページラベルは空白のままにすることもできます。デフォルトではページ番号がページタイトルに使用されます。ページアイコンは、追加された場合にのみ表示されます。ページラベルの変更や、オーディトリークューをページに追加するには、編集画面のラベルエリアをタップします。

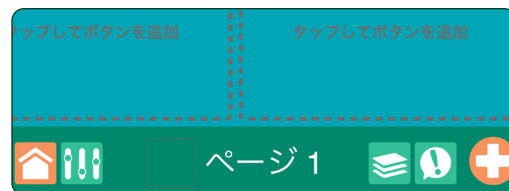


図 3-11 デフォルトでは、ページラベルタイトルにはページ番号が使用されます。

3.3.1 ページラベルタイトル

各コミュニケーションページの下部には、ページタイトルが表示されます。ページタイトルは、ページリンクの「ジャンプ」のリストにも表示されます。テキスト入力フィールドを使用して、ラベルテキストを変更または消去します。「**フォント設定**」ボタンをタップしてテキストの大きさとフォントのスタイルを変更します。



図 3-12 ページラベルをタップし、テキスト入力フィールドを使用してページタイトルを変更または削除します。

3.3.2 ページラベルアイコン

ページラベルには画像を追加することができます。ページタイトルの横にあるラベルスペースをタップして、アイコン画像を追加します。画像は、GoTalk Image Library、インターネット検索、iPadのフォトライブラリ、またはiPadカメラで撮影した新しい写真から使用可能です。



図 3-13 ページアイコンボックスをタップし、ページラベルに画像を追加します。画像はGoTalk Image Library、インターネット検索、またはiPadのフォトライブラリから追加できます。iPadのカメラを使用してアイコン画像を作成することもできます。

3.3.3 ページのオーディトリークュー

ページラベルツールには、ページに聴覚的な手がかりを追加するための「オーディトリークュー」ボタンがあります。このキューは、「テキスト読み上げ(TTS)」プレーヤーまたはオーディオレコーダーを使用して作成できます。アプリの設定で「オーディトリークュー」をオンにすると、コミュニケーションページを開いたときに音声ページキューが流れます。

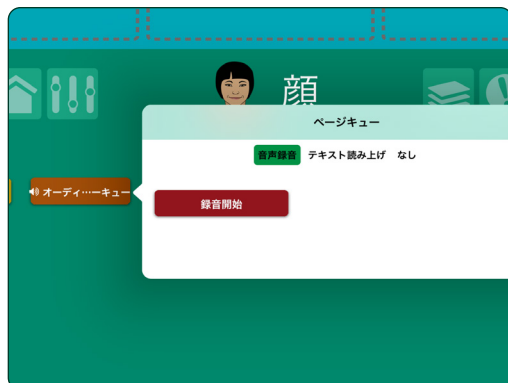


図 3-14 音声録音を使用して、オーディトリークューを作成できます。



図 3-15 テキスト読み上げを使用して、オーディトリークューを作成できます。

3.4 メッセージロケーションの作成

コミュニケーションページにメッセージロケーションを追加するには、先ず未割り当てのページボタンを1つ選択します。新規メッセージロケーションには、黒い枠と白背景が付き、仮テキストとして「ボタンテキスト」という文字が表示されます。

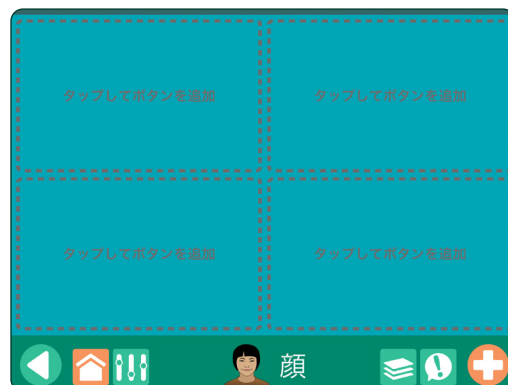


図 3-16 ページボタンをタップして、メッセージロケーションを作成します。

3.4.1 背景色と境界線の色

背景色と境界線の色はメッセージロケーションごとに異なる設定ができます。境界線の色は背景色に合わせることも、違った色にすることもできます。メッセージロケーションの色を変更するには、**背景色** ☐ **境界線** ☐ を使用します。

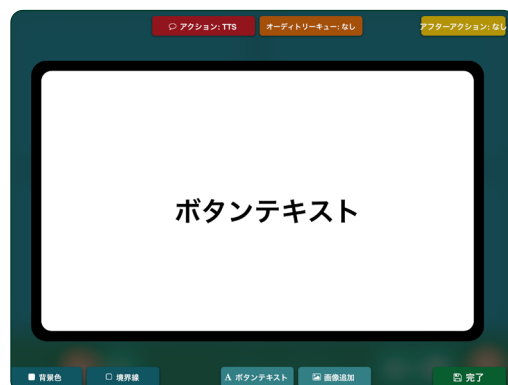


図 3-17 メッセージロケーションの上下にある編集ボタンは、メッセージロケーションの外観を変更したり、機能を追加するためのツールです。「ボタンテキスト」が仮テキストとして表示されます。

3.4.1 背景色と境界線の色(続き)



図 3-18 「背景色」と「境界線」ボタンを使用して、メッセージロケーションボタンの色を選択します。見本タブには標準的な色の選択肢が用意されています。右下のグリッドパターンの見本には、選択された背景色が保存され、テキストや境界線の色を割り当てる際に使用できます。



図 3-19 カスタムカラーを選択する場合は、**選択**タブを使って任意の色を選択します。また、**カラーコード入力**ボタンを使用して16進数の色値を入力することもできます。色の明暗の微調整はスライダーコントロールで行うことができます。

3.4.2 ボタンテキスト

ボタンテキスト **A ボタンテキスト** をタップするか、メッセージロケーションのテキストをダブルタップして、テキスト調整の設定を開きます。そこから、表示させたいテキストを入力し、サイズやフォントスタイル、色を変更することができます。



図 3-20 メッセージロケーションに表示されるテキストは、**ボタンテキスト**タブの設定で調整します。



図 3-21 **テキスト**設定をタップすると、メッセージロケーションに単語やフレーズを追加または削除することができます。このオプションは、メッセージロケーション上のボタンテキストをダブルタップして開くこともできます。



図 3-22 行頭に「##」と入力することで、メッセージロケーションで **文字列の分割**ができます。



図 3-23 スライダーコントロールでメッセージロケーションのテキストの **サイズ**を調整します。テキストサイズはピンチイン、ピンチアウトで変更することもできます。

3.4.2 ボタンテキスト (続き)

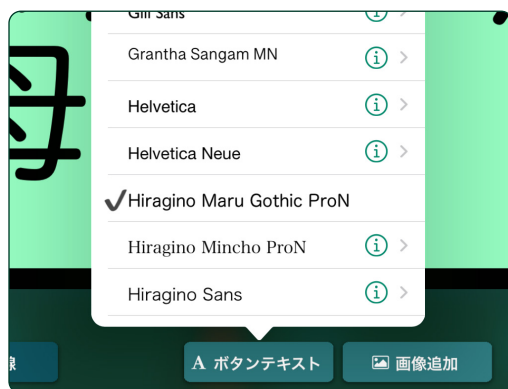


図 3-24 テキストスタイルを変更するには、**フォント**設定をタップして、使用可能なフォントスタイルを選択します。

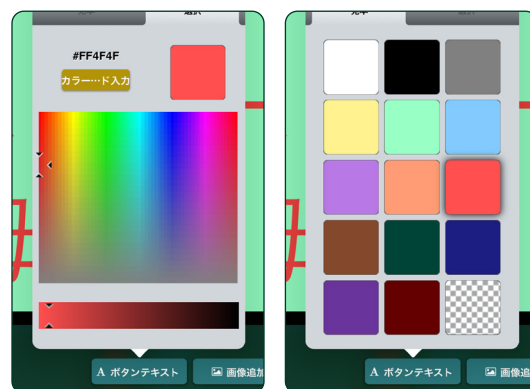


図 3-25 「見本」または「選択」タブを使用して、**テキストの色**を選択します。右下のグリッドパターンの見本を選択すると、現在の背景色が選択されます。

3.4.3 メッセージロケーションに画像を追加する

メッセージロケーションに画像を追加するには、**画像追加**  ボタンを使用します。画像は、GoTalk Image LibraryやiPadのフォトライブラリ、もしくはインターネット検索から追加できます。iPadのカメラを使用して写真を撮り、メッセージロケーションに配置することもできます。



図 3-26 画像追加ボタンをタップして、メッセージロケーションに画像を配置します。4つの画像元オプションのいずれかを選択します。

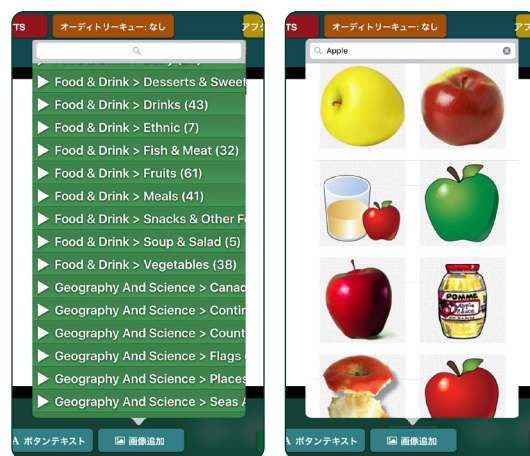


図 3-27 GoTalk Image Libraryには4,000以上の画像が用意されています。カテゴリーをスクロールするか、テキストフィールドにキーワードを入力して選択肢を絞り込みます。



図 3-28 インターネット検索ツールは、Bing.comから入手できるイメージを画像検索します。テキストフィールドを使用して、画像検索のキーワードを入力します。

3.4.3 メッセージロケーションに画像を追加する (続き)

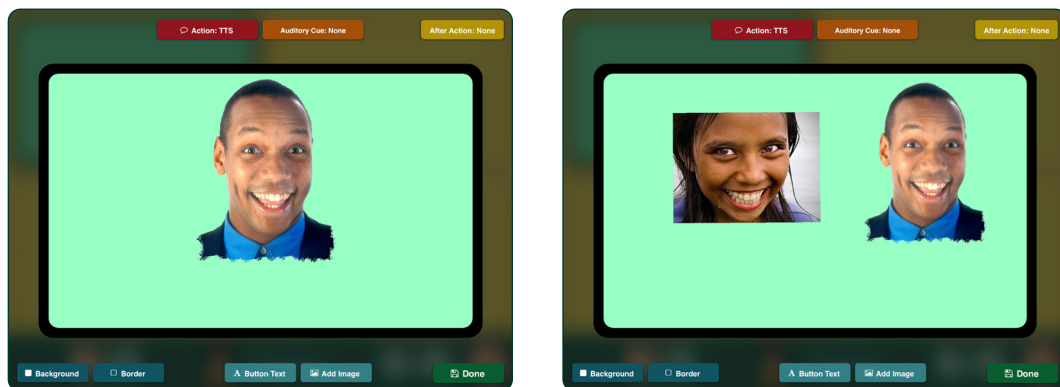


図 3-29 メッセージロケーションには、複数の画像を配置することができます。

3.4.4 画像の編集

メッセージロケーションに配置された画像は、拡大縮小、トリミング、移動、回転させることができます。画像をダブルタップ、または長押しして「画像編集」タブを開きます。



図 3-30 画像を長押しすると「画像編集」設定が表示され、切り抜きや削除、または画像を他の素材の前面に配置することができます。位置をリセットをタップすると、メッセージロケーション上の元の画像配置に戻ります。カメラロールに保存をタップすると、iPadのフォトライブラリに画像が保存されます。



図 3-31 指でドラッグしてメッセージロケーション上の、画像の再配置を行うことができます。ピンチや画面を広げるジェスチャーで、画像のサイズ変更ができます。画像の回転は、2本の指で画像をどちらかの方向に回転させます。

動画のトリミング
機能をアプリ設定でオンにすることにより、動画の一部分を選択する動画編集ツールが追加されます。

3.4.5 メッセージロケーションにアクションを追加する

アクション **録音音声** ボタンを使用して、メッセージロケーションにメディアの動作を追加します。「**音声録音**」や「**テキスト読み上げ**」オプションを使用して、音声メッセージを追加できます。「**ジャンプ**」はメッセージロケーションをナビゲーションボタンに変えることができます。「**Media Player**」はiTunesの曲リストから音楽を再生するときに使用します。「**URL**」アクションは、メッセージロケーションをiPadのWebブラウザで開く、Webページを割りてることができます。(iPadがインターネットに接続されている必要があります。)「**GoVisual**」はAttainmentのアプリGoVisualを起動し、選択したシーンを開きます。「**ビデオ**」アクションはメッセージロケーションをビデオプレーヤーボタンに変えます。

「音声録音」または「テキスト読み上げ」メッセージを割り当てたメッセージロケーションには、メッセージの再生後に発生する2つ目のアクションを追加することができます。メッセージロケーションに音声メッセージを追加した後に、**アフターアクション** **なし** ボタンをタップして、次の3つのアクションのいずれかを追加します。

- ブックの次のページに移動
- 前に表示したページに戻る
- 特定のページにジャンプ

Hue Light Control **Hue Light Control** ボタンは、使用可能な場合、Hueスマート照明システム のWi-Fi制御のために使用します。この環境照明制御システムに必要なHueブリッジとポータルテクノロジーは別途購入する必要があります。

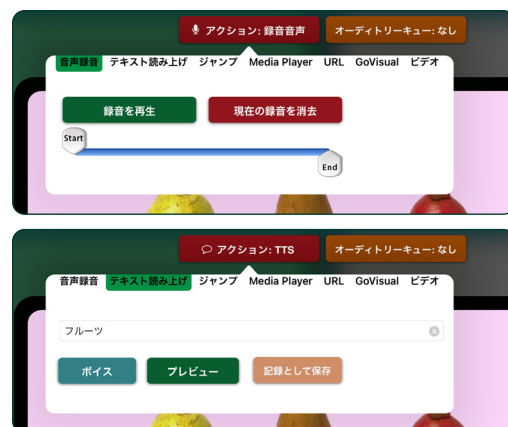


図 3-32 アクションボタンをタップして、録音またはテキスト読み上げ音声メッセージロケーションに追加します。

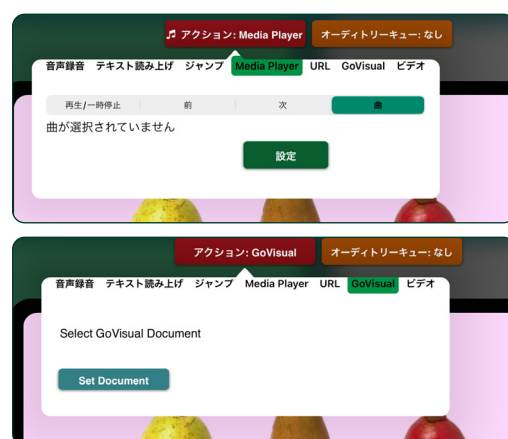


図 3-33 メッセージロケーションでは音楽の再生や、ビデオを表示できます。**Media Player**アクションを使用して、iPadの曲リストから曲を選択します。**GoVisual**アクションからGoVisualアプリのシーンを開くこともできます。

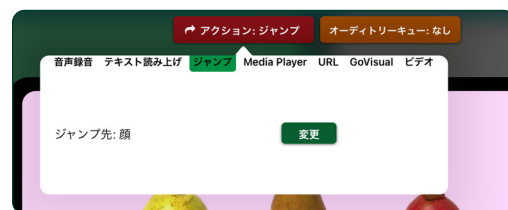


図 3-34 ジャンプアクションを使用して、メッセージロケーションをブックのナビゲーションボタンとして使用します。

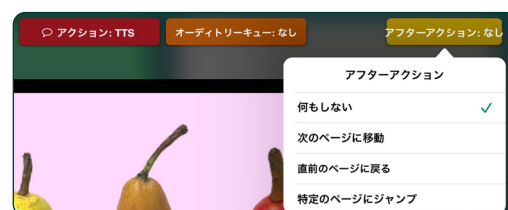


図 3-35 アフターアクションボタンをタップして、音声メッセージアクションが再生された後に発生する、セカンドアクションを追加することができます。

3.4.6 メッセージロケーションのオーディトリ キュー

オーディトリキュー オーディトリキュー: なし ボタンを使用して、メッセージロケーションにオーディトリキュー（聴覚キュー）を追加します。メッセージロケーションをタップすると、オーディトリキューが再生されます。キューは、「音声録音」または「テキスト読み上げ」プレーヤーで作成できます。オーディトリキューはメインアプリの設定でオンになっている場合にのみ再生されます。

メッセージロケーションに追加されたオーディトリキューは、さまざまな目的のコミュニケーションに役立ちます。以下はその例です。

- **スキャンプロンプト:** オーディトリキューは、各メッセージロケーションのスキャンプロセス中に音声プロンプトを提供することができます。これを「聴覚スキャン」といいます。
- **新しい語彙の紹介:** 言葉や概念の中には、視覚的に説明することが難しいものがあります。オーディトリキューがあれば「お願い(please)」や「欲しい(want)」などのメッセージや、解釈が難しい画像を理解しやすくなります。
- **視覚障害:** オーディトリキューは、視覚障害者がコミュニケーションブックを使用する際の助けになります。
- **予備メッセージ:** オーディトリキューを追加することにより、メッセージロケーションは2つのアクションを持つことになります。1回目のタップでオーディトリキューが再生され、2回目のタップで、メッセージがメッセージロケーションに追加されていれば、メッセージを再生します。

3.4.7 メッセージロケーションをコピー、ペースト、交換、削除、非表示

一度作成したメッセージロケーションは、コミュニケーションページの他の利用可能なボタンの場所にコピーすることができます。メッセージロケーションを長押しし、「コピー」ツールと「ペースト」ツールを使用するか、「交換」ツールで2つのメッセージロケーションを入れ替えることができます。メッセージロケーションは「削除」ツールを使用してページから削除、または「非表示」ツールから非表示にできます。

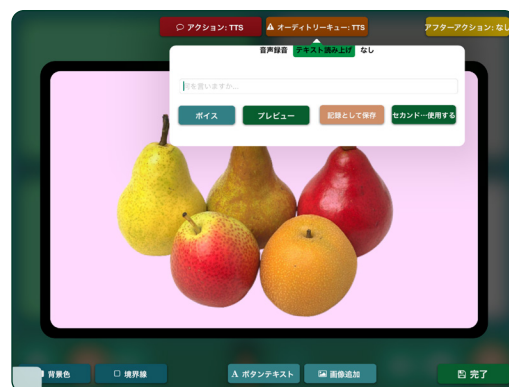


図 3-36 オーディトリキューボタンをタップして、メッセージロケーションのオーディトリキューとして使用するメッセージを作成することができます。



図 3-37 アプリの設定でオーディトリキューが「オン」になっている場合、最初にメッセージロケーションをタップするとオーディトリキューが再生され、メッセージロケーションが緑の枠でハイライトされます。もう一度タップすると、枠線が赤くなり、そのメッセージロケーションに割り当てられたアクションがアクティブになります。



図 3-38 メッセージロケーションを長押しして、メッセージロケーションをコピー、交換、削除できます。

3.4.7 メッセージロケーションをコピー、ペースト、交換、削除、非表示(続き)

- 「コピー」ツールを使用するメッセージロケーションを長押し選択します。次に、別のメッセージロケーションを長押しし、「ペースト」ツールを使用して2つ目の位置にコピーします。最初のメッセージロケーションに割り当てられたプロパティはそのまま維持されます。
- 同じページ上の2つのメッセージロケーションの位置を入れ替えるには、片方のメッセージロケーションを選択して「交換」をタップしてから、もう一方の場所をタップします。2つのメッセージロケーションの位置が入れ替わります。
- ページ上のメッセージロケーションを消去せずに非表示にするには、「非表示」を使用します。

3.5 クイックボタン

クイックボタン  機能を使用すると、コミュニケーションブックのすべてのページで使用可能なメッセージロケーションボタンを最大4つ追加できます。

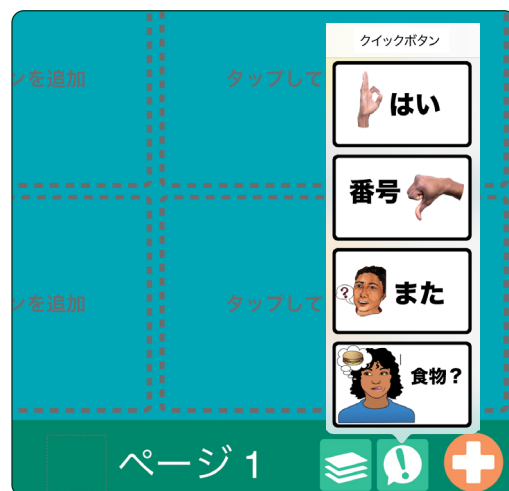


図 3-39 クイックボタンをタップして、コミュニケーションブック全体で使用可能なメッセージロケーションを作成することができます。

3.6 ページとテンプレートの管理

ページ  ボタンを開いて別のページに移動するか、「編集」をタップしてリスト内のページの並び替えや消去ができます。 **新規ページメニュー**を使用して、既存のページレイアウトをもとに新しいページを追加することができます。(テンプレートについては 21 ページ を参照)



図 3-40 リストされているページラベルをタップして、コミュニケーションブック内のそのページに移動します。「編集」をタップすると、ページの並び替えや消去ができます。



図 3-41 コミュニケーションブックからページを削除するには、ページラベルの横にある赤い削除ボタンをタップします。現在表示されているページは削除できません。 **ページの移動**をするには、ページの横にあるドラッグバーをタップしながらリスト内の新しい場所に移動します。

「シーンコミュニケーションページ」は、メッセージロケーションのページグリッドの代わりに、ページコンテンツとして使用することができます。画像の一部にタッチ式のホットスポットを追加することで、画像上でのタップアクションを可能にします。シーン(画像)ホットスポットには、メッセージロケーションで使用可能な全てのアクションを追加することができます。

シーンコミュニケーションページの作成には、**新規ページメニュー**の「**新規シーンページの追加**」オプションを使用します。ページ用の画像を選択し、ホットスポットをページに追加します。

1. 新規ページメニュー  を開き、「**新規シーンページの追加**」を選択します。
2. 右下の  ボタンをタップし、シーンイメージを設定します。画像は、GoTalk Image Library、iPadフォトライブラリ、インターネット検索から選択します。また、iPadのカメラを使用してページ用の写真を撮影することもできます。シーンイメージに使用できる画像は1枚のみです。
3. 画像をドラッグ、ピンチして位置とサイズを調整します。
4. ホットスポットをページに追加する際に画像が動かないように、画像をページの所定の位置に固定するには、 を再びタップし、「**画像を固定**」をタップします。



図 4-1 シーンコミュニケーションページでは、タッチ式のホットスポットを使用してアクションを実行します。

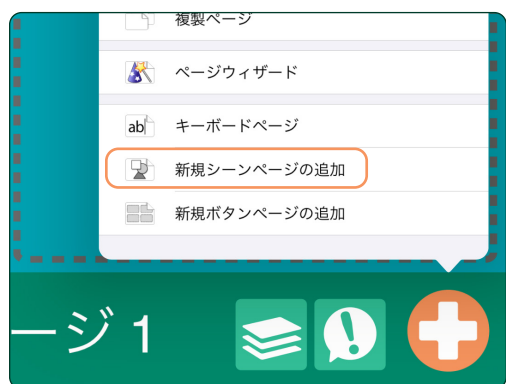


図 4-2 新規ページメニューから**新規シーンページの追加**を選択し、シーンコミュニケーションページを作成します。



図 4-3 ページイメージはiPadのフォトライブラリ、GoTalkイメージライブラリ、またはインターネット検索から選択するか、iPadカメラで撮影し使用することができます。

5.  ボタンをタップし、ページにホットスポットを追加します。ホットスポットをドラッグ、ピンチして位置とサイズを調整します。
6. ホットスポットをタップすると、アクションを設定するタブが表示されます。ホットスポットには、メッセージロケーションと同様のアクション設定が可能です。シーンコミュニケーションページには、最大25のホットスポットを追加することができます。



図 4-4 ホットスポットを画像上に配置し、メッセージロケーションと同様のアクションを追加します。

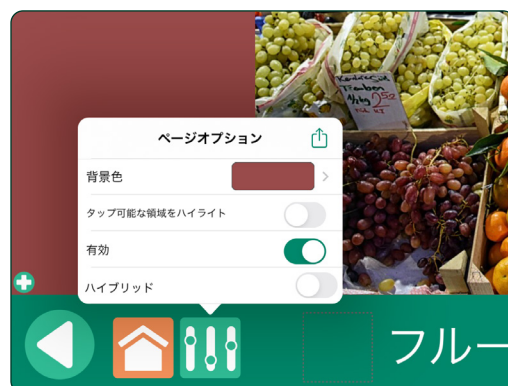


図 4-5 画像がページ全体を覆っていない場合はページオプションタブを使用して 背景色を追加することができます。「タップ可能な領域をハイライト」を有効にしてホットスポットをプレーヤー画面で表示します。

4.1 シーンコミュニケーションページにメッセージロケーションを追加

ページオプションの「ハイブリッド」設定から、シーンコミュニケーションページに最大4つのメッセージロケーションを追加することができます。「方向」設定を使用し、メッセージロケーションをシーンページの左、右、上、または下側に配置します。



図 4-6 ページオプションタブから ハイブリッドシーンコミュニケーションページを作成します。4つまでのメッセージロケーションが追加することができます。



図 4-7 ハイブリッド シーンコミュニケーション ページの左、右、上、または下側にメッセージロケーションを追加できます。



キーボードページを使用する場合、自動スクリーンとステップスクリーンには、プレーヤーページのナビゲーションボタンのみ含まれます。

キーボードページには、iPadのキーボードでメッセージを入力するためのメッセージバーと、内蔵された単語予測機能があります。入力されたメッセージは「テキスト読み上げ」プレーヤーで聞くことができます。新規ページメニューからフォーマット済みの「**キーボードページ**」を追加できます。1つのブックに複数のキーボードページを追加することができます。テキストの大きさやスタイルなどのページ調整はできません。ページのタイトル「キーボードページ」は変更できません。



図 5-1 新規ページメニューから **キーボードページ** を選択し、iPadのスクリーンキーボードでメッセージを入力できるコミュニケーションページを作成します。

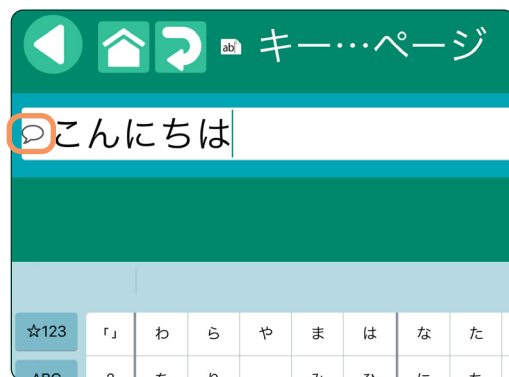


図 5-2 をタップして、入力したメッセージを「テキスト読み上げ」音声で聞けます。入力されたメッセージはメッセージバーに新しい単語が入力されるまで、繰り返し再生できます。

メッセージバーに追加するには、メッセージロケーションにアクションとして「音声録音」もしくは「テキスト読み上げ」が割り当てられている必要があります。

「エキスプレスページ」では、メッセージバーを使用して、選択したメッセージボタンを組み合わせ、順番に再生します。メッセージロケーションをタップすると、ボタンがメッセージバーに追加されます。

6.1 ブックにエキスプレスページを追加する

ページエディタでコミュニケーションページを開いた状態で、**ページオプション** をタップし、ページのエキスプレスページ設定を「オン」にします。メッセージバーがコミュニケーションページに表示されます。メッセージバーを消去するには、ページオプションに戻り、エキスプレスページ設定を「オフ」にしてください。



図 6-1 ページオプションのエキスプレスページを有効にし、メッセージバーをコミュニケーションページに追加します。

6.2 メッセージバーの使い方

コミュニケーションページ上部にメッセージバーが表示されているときに、メッセージロケーションをタップすると、そのメッセージがメッセージバーに追加されます。メッセージバーに追加できるメッセージ数に制限はなく、メッセージは複数回追加できます。最後に追加したメッセージを削除するには、メッセージをバーの削除ボタンをタップします。



図 6-2 メッセージバーは、エキスプレスページの上部か下部に設置できます。

セクション 6 エクспレスページの 使い方



オーディトリリーキュー機能が使用されている場合（アプリの設定でオンになっている場合）、メッセージロケーションを最初にタップするとオーディトリリーキューが再生され、2回目にタップすると、そのメッセージがエクспレスページのメッセージバーに追加されます。

6.2 メッセージバーの使い方(続き)

追加された全てのメッセージロケーションを1つのメッセージとして再生するには、メッセージバーの任意の箇所をタップします。メッセージをもう一度聞くには、メッセージバーのリプレイボタンをタップします。メッセージバーが空白の場合は、繰り返し再生することや、新しいメッセージに置き換えることができます。



図 6-4 スキャンの使用中には、追加の削除ボタンが表示されます。上部のボタン(緑)はメッセージバーに追加された最後のメッセージを消去し、下のボタン(赤)はメッセージバー内のメッセージをすべて削除します。



図 6-3 メッセージロケーションをタップしてメッセージバーに追加します。最後に追加されたメッセージを削除するには、削除ボタンをタップします。メッセージバーの任意の箇所をタップして、作成されたメッセージを再生します。



図 6-5 メッセージの再生後、リプレイボタンが表示され、メッセージバーを繰り返し再生できます。メッセージ内容は新しいメッセージが作成されるまでメモリに保持されます。

6.3 エクспレスページのオプション機能

アプリの設定から、エクспレスページのオプション機能を設定します。

- **エクспレスバーの位置:** 全てのブックのページのエクспレスバーの位置を、上部か下部に変更します。
- **新規ページをエクспレスページで作成:** この設定をオンにすると、ブック用に新しく作成された全てのページにメッセージバーが組み込まれます。
- **再生時にTTSアイテムを結合:** この設定をオンにすると、一連の「テキスト読み上げ(TTS)」メッセージが1つの文として読めます。オフにすると、各メッセージの間にポーズが入ります。
- **単語の断片として結合:** この設定をオンにすると、メッセージバーに表示されている複数の文字をまとめて1つの単語として作成、読み上げます。注: アプリの設定「再生時にTTSアイテムを組み合わせる」をオンにしておく必要があります。

6.4 メッセージバーのコンテンツを共有

メッセージバーに配置されたメッセージロケーションは、画像として取り組み、メールまたはテキストメッセージで送信することができます。メッセージバーを長押しし、「共有ウィンドウ」を開き、配信オプションを選択します。画像にはメッセージに使用される全てのメッセージロケーションが含まれます。



図 6-6 エクспレスページのメッセージバーを長押しし、メッセージを共有します。

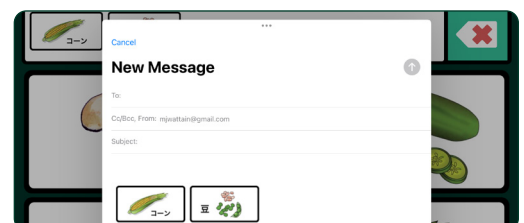


図 6-7 完成されたエクспレスページのメッセージは画像ファイルとして送信されます。



目次

コミュニケーションページは、「テンプレート」として保存することができます。テンプレートはあらかじめ用意されたページのセットとして、コミュニケーションブックに追加することができます。1つのテンプレートには最大10ページまで保存することができ、1つのブックに複数のテンプレートを適用できます。作成したテンプレートは、アプリの **マイテンプレートギャラリー** に保存されます。

7.1 テンプレートの作成

ページの管理 ボタンをタップしてページタブを開き、タブウィンドウの上部にある **+** をタップし、リストから「マイテンプレート」を選択します。「**新規テンプレートの作成**」をタップすると、新しいテンプレートに名前をつけて最大10ページまで追加できます。

- **名前:** ここに入力された名前は、マイテンプレートのリストで使用されます。
- **説明:** 説明はマイテンプレートのリストに表示され、ギャラリー検索に使用されます。
- **作成者:** 作者名はマイテンプレートのリストに表示されます。
- **ページ:** 現在のコミュニケーションブックから最大10ページを選択し、「**設定**」をタップします。
- **スクリーンショット:** **新規ページメニュー**リストで、テンプレートのアイコンとなるページを選択します。

すべてのテンプレート情報を入力後、「**作成**」をタップして新しく作成したテンプレートを**マイテンプレートギャラリー**に保存します。



図 7-1 スクリーンショット: マイテンプレートリストで、テンプレートのアイコンとなるページを選択します。



図 7-2 新しいテンプレートタブを使用して、既存のコミュニケーションブックから最大10ページをまで保存できます。テンプレートリストでアイコン表示されるページを選択します。

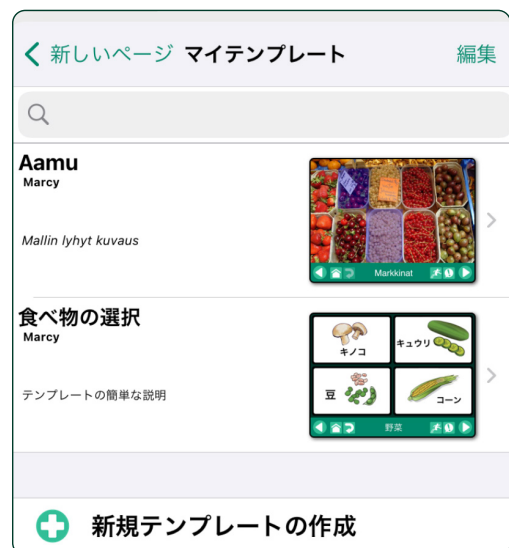


図 7-3 作成されたテンプレートは **マイテンプレートギャラリー**に保存され、新しいコミュニケーションブックコンテンツとして利用できます。

7.2 テンプレートをメールで共有する

ページの管理  ボタンをタップしページタブを開き、タブのタイトルバーにある  をタップして新規ページメニューを開きます。マイテンプレートを選択すると、使用可能なテンプレートが表示されます。

- 共有するテンプレートを選択します。
- 「共有」の選択肢からメールアイコン  を選択します。iPadのメールフォームが開きます。
- Eメールアドレスを入力し、テンプレートのダウンロードリンクを送信します。



図 7-4 メールでテンプレートを配信するには、テンプレートを選択し、共有の選択肢からメールアイコンをタップします。

7.3 オンラインギャラリーの共有

ページテンプレートを「パブリックギャラリー」に追加して、他の GoTalk NOW ユーザーと共有することができます。または、共有にアクセスコードが必要な「プライベートギャラリー」テンプレートを作成することもできます。

ページの管理  ボタンをタップしてページタブを開き、タブのタイトルバーにある  をタップして新規ページメニューを開きます。マイテンプレートを選択すると、使用可能なテンプレートが表示されます。

- 共有するテンプレートを選択します。
- 「共有」の選択肢から、クラウドアイコン  をタップすると、「オンライン新規ページメニューにアップロード」のウィンドウが開きます。
- パブリックギャラリーまたは プライベートギャラリーを選択します。

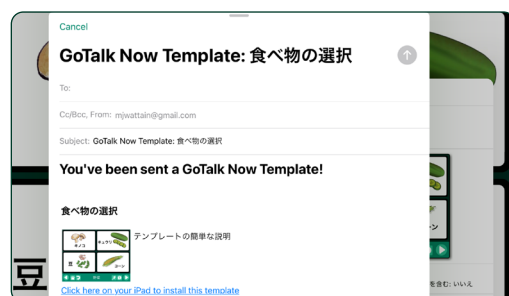


図 7-5 GoTalk NOW テンプレートメールには、テンプレートの説明と、GoTalk NOW アプリがインストールされたiPadへのダウンロードリンクが含まれています。

7.3.1 パブリックギャラリーにテンプレートを追加する

パブリックギャラリーにテンプレートをアップロードすると、全ての GoTalk NOW ユーザーが利用できるようになります。パブリックギャラリーに追加されたテンプレートは、編集または削除ができなくなります。

7.3.2 プライベートギャラリーにテンプレートを追加する

プライベートギャラリーにテンプレートをアップロードすると、自身で作成したテンプレートに割り当てられた共有コードを知っている人のみが利用できるようになります。



図 7-6 パブリックギャラリーを選択して、GoTalk NOW オンラインパブリックギャラリーにテンプレートをアップロードします。

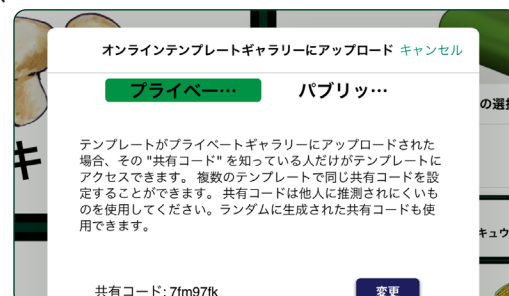


図 7-7 アクセスコードの使用を要求するには、テンプレートの共有にプライベートギャラリーを使用します。

7.4 オンラインギャラリーから無料の既製ページを利用する

「オンラインギャラリー」はGoTalk NOWコミュニケーションブックで可能なインタラクティブ機能について学ぶのに役立つ、無料の既製ページのソースです。

ページの管理 ボタンをタップしページタブを開き、タブのタイトルバーにある **+** をタップして新規ページメニューを開きます。マイテンプレートを選択すると、使用可能なテンプレートが表示されます。**オンラインギャラリー**を選択して、無料のページテンプレートを検索しダウンロードすることができます。

- **プライベートギャラリー:** GoTalk NOWユーザーは、自身で作成したギャラリーへの共有コードを送受信することにより、ページテンプレートを共有できます。
- **Featured by Attainment:** このギャラリーには、Attainment Companyのスタッフが作成した、GoTalk NOWのインタラクティブ機能を活かしたページテンプレートがあります。

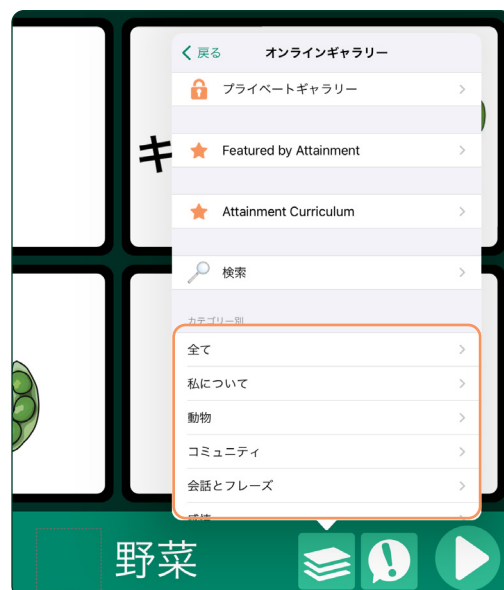


図 7-8 オンラインギャラリーを使用して、無料のページテンプレートをダウンロードします。

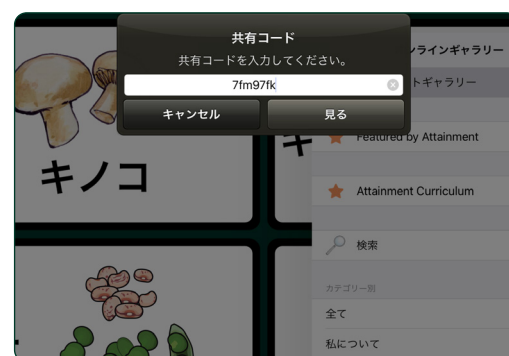


図 7-9 プライベートギャラリーのテンプレートは、オンラインギャラリー内で一覧表示されません。ギャラリー内のテンプレートの表示と使用には、共有コードが必要です。



図 7-10 Featured by Attainment新規ページメニューには、Attainmentのスタッフによって作成されたGoTalk NOWで可能なインタラクティブ機能を活かしたページテンプレートがあります。

7.4 オンラインギャラリーから無料の既製ページを利用する(続き)

ページテンプレートを見つけて選択したら、**ダウンロード** アイコンをタップして、テンプレートを「**ダウンロード済みテンプレート**」グループに追加します。

コミュニケーションブックに追加  アイコンをタップしダウンロード済みテンプレートを表示中のコミュニケーションブックに追加します。

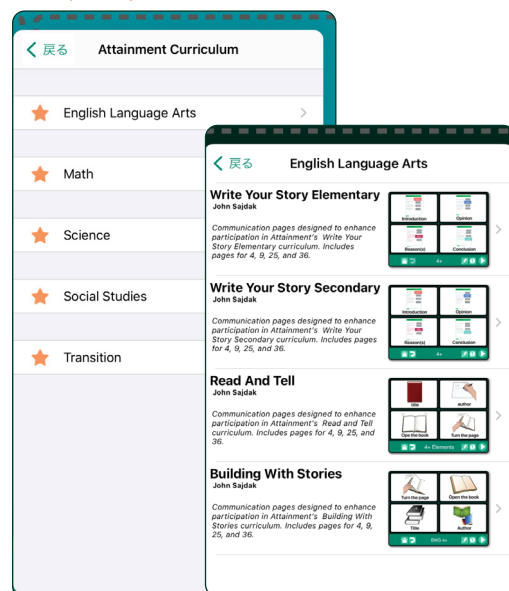


図 7-11 Attainment Curriculumのテンプレートは Attainmentのレッスンと合わせて使用するよう作成されています。



図 7-12 ダウンロードしたテンプレートはダウンロード済みテンプレートグループに追加され、新しい GoTalk NOWページの作成に使用できます。

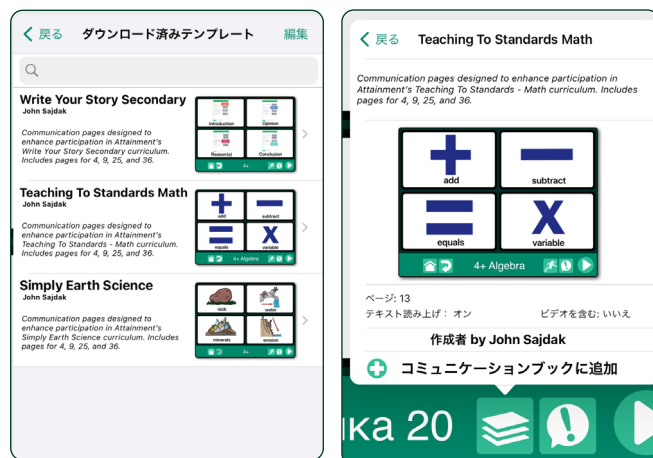


図 7-13 ダウンロードしたテンプレートはダウンロード済みテンプレートグループに追加され、新しい GoTalk NOWページの作成に使用できます。



GoTalk
NOW
LITE と

GoTalk Start では、ブックやテンプレートの共有はできません。これらのアプリは1つのコミュニケーションブックに制限されています。ホーム画面にブックタイトルは表示されず、ライブラリリストも使用できません。

ホーム画面の下部に表示されているブックタイトルをタップすると、**GoTalk NOW** ライブラリにあるコミュニケーションブックのリストが表示されます。ブックが作成されていない場合は、空白のページが1つあるデフォルトブックがライブラリに表示されます。リストには常に最低1つのブックが表示されるので、ライブラリ内の全てのブックを消去することはできません。

新しいコミュニケーションブックを作成するには、ライブラリリストウィンドウの左上にある **+** をタップします。

「編集」をタップして、ブックライブラリのリストの順番を変更します。ブックタイトルのドラッグバーアイコンを長押しして、ブックをリスト内の新しい場所に移動できます。

リストされているブックタイトルの横にある**共有** アイコンをタップすると、他のブック管理ツールを利用できます。

- **削除:** **GoTalk NOW** ライブラリからブックを削除します。現在選択されているブックは削除できません。(選択を解除してから削除してください。)
- **名前変更:** ブックのタイトルを変更または置き換えます。
- **複製:** 新しい名前でブックの複製を作成します。
- **バックアップ/復元:** コミュニケーションブックは iTunesやDropboxなどのファイル共有サービスを通じてコンピュータにバックアップできます。
- **圧縮ブックの共有:** コミュニケーションブックのコピーを別の**GoTalk NOW** ユーザーに送信します。別のiPadにアップロードする際に、ブックは圧縮解除されます。
- **PDFをエクスポート:** コミュニケーションブックをPDFファイルに変換します。PDFを配信するために、PDFのダウンロードリンクが記載されたメールフォームが作成されます。



図 8-1 ホーム画面下部のブックタイトルをタップして、コミュニケーションブックのライブラリを開きます。プレーヤーまたはページエディタでアクティブにするブックタイトルを選択します。

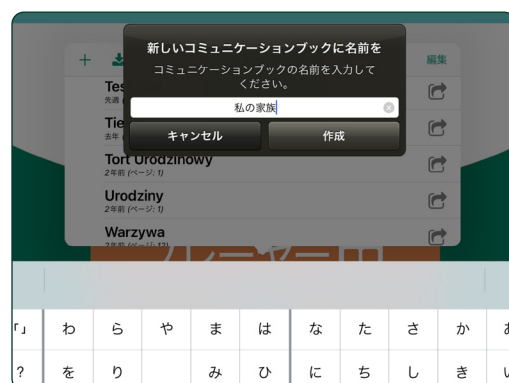


図 8-2 新しいコミュニケーションブックを作成するには名前を入力し、作成ボタンをタップします。新しく作成されたコミュニケーションブックは、1つの空白のページから始まります。



図 8-3 編集画面を開き、各タイトルの横にあるドラッグバーアイコンでコミュニケーションブックの並び替えができます。赤い削除ボタンを使用して、アプリからブックを削除します。



目次

8.1 WiFiネットワークでのブロードキャスト共有

GoTalk NOW をインストールした2台以上のiPadが同じWiFiネットワーク上にある場合、**ブロードキャスト**機能を使用して1台のiPadから他のiPadにコミュニケーションブックを送信することができます。

送信:

1. 同じWiFiネットワーク上のiPadと共有するコミュニケーションブックを選択し、ライブラリリストを閉じます。選択されたブックのタイトルがメイン画面の下部に表示されます。
2. メイン画面の「GoTalk NOW」ボタンをタップして、WiFiブロードキャストを開始します。

受信:

1. **GoTalk NOW** アプリを搭載し同じネットワーク上にあるiPadで、メイン画面の下部にあるブックタイトルをタップして、コミュニケーションブックのライブラリリストを表示します。
2. 「コミュニケーションブック」タブの左上にある **[Pull] ↓ アイコンをタップします。[Select Other GoTalk App]** と書かれたポップアップが表示されます。
3. ブロードキャストされたコミュニケーションブックを選択します。「**プル**」ボタンのある新しいポップアップが表示されます。
4. プルボタンをタップして、iPadが接続されてコミュニケーションブックが転送されるのを待ちます。受信側のiPadが「コミュニケーションブック」タブのライブラリリスト内にブックが表示されたら、このプロセスは完了です。



図 8-4 コミュニケーションブックは、同じWiFiネットワーク上にある別のiPadと簡単に共有できます。ライブラリリストからブックを選択して、ホーム画面に戻り、GoTalk NOW ボタンをタップしてブックを**ブロードキャスト**します。

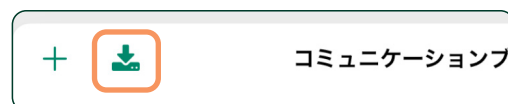


図 8-5 同じWiFiネットワークを使用している受信側iPadで、GoTalk NOWブックライブラリを開き、**プル**アイコンをタップします。ブロードキャストされたコミュニケーションブックはダウンロード可能になります。

8.2 メールまたはAirDrop での共有

ライブラリリストから共有するブックを選択し、**共有**  アイコンをタップして **圧縮ブックの共有**を選択します。メールを使用してのブックの配信か、AirDrop を使用して近くのiPadユーザーとその場で共有することができます。この方法により、コミュニケーションブックのバックアップも可能です(32ページ参照)

8.2.1 メールで圧縮されたブックを送信する

コミュニケーションブックはメールで送信し、別のiPadのGoTalk NOWで開くことができます。ライブラリリストから共有するブックを選択し、共有  アイコンをタップして **圧縮ブックの共有**を選択します。「メール」オプションをタップすると、コミュニケーションブックが“gtbz”という拡張子で圧縮されたファイルとして添付されたメールメッセージが開きます。メールアドレスを追加して、相手にブックを送信します。以下の手順に従って、メールから圧縮されたコミュニケーションブックを読み込みます。

1. メールの添付ファイルをタップし、ファイルをダウンロードします。
2. **GoTalk NOW** アイコンが*.gtbzファイルの上に表示されます。アイコンをタップし、iPadの共有オプションを開きます。
3. 「GoTalk Nowにコピー」をタップします。
4. 「新しいコミュニケーションブックに名前を付ける」ポップアップにブック名を入力します。ブック名は、共有ブックと同じでも異なっても構いません。「作成」をタップすると、ライブラリリストにブックが表示されます。

8.2.2 AirDropで圧縮されたブックを送信する

AirDropは、近くにあるiPadと共有することができます。iPadに内蔵されているワイヤレス共有オプションです。共有オプションから「メール」を選択する代わりに、AirDropリストに表示されている名前のいずれかを選択します。選択された人には、そのブックが**GoTalk NOW** で利用可能であることを伝えるiPadメッセージが届きます。それぞれのiPadでAirDrop が有効になっている必要があります。AirDrop はiPad4以降で使用できます。

8.2.3 Webサーバー経由での共有

メール共有が不可能な場合は、Webサーバー方式を使用して、同じWiFiネットワーク上にあるMacまたはPCを使用して圧縮されたブックをアップロードおよびダウンロードすることができます。Webサーバーによる共有方法の設定については、Attainment Companyにお問い合わせください。

8.3 コミュニケーションブックをPDFページとしてエクスポートする

コミュニケーションブックのPDF版を作成するには、ライブラリリストから共有するブックを選択し、共有  アイコンをタップします。表示されたオプションから「PDFをエクスポート」を選択します。PDFは、メールで送信されたダウンロードリンクから入手できます。

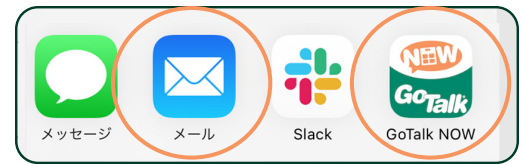


図 8-6 ダウンロード完了後、共有されたブックに受信側は名前を付ける必要があります。名前は元のブックと同じでも異なるものでも構いません。

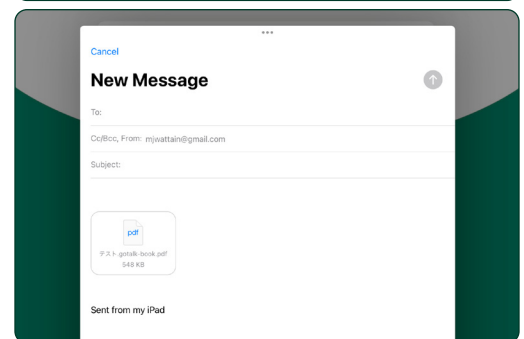
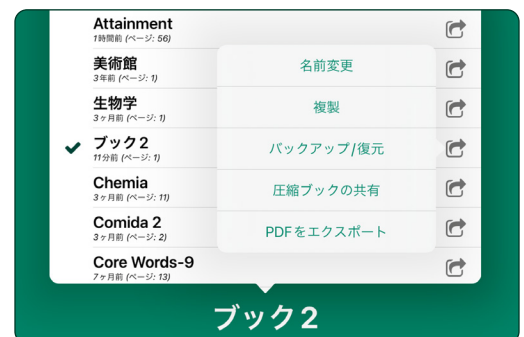


図 8-7 コミュニケーションブックのPDF版を作成するには、共有オプションから **PDFにエクスポート**を選択します。GoTalk NOW がブックのダウンロードリンクを送信するためのメールを作成します。

コミュニケーションブックは、iTunesを使用してコンピューターに保存することや、Dropboxなどのオンラインストレージサービスに保存することができます。

9.1 iTunes経由でのコンピューターへのバックアップ

お使いのコンピューターにApple iTunesがインストールされている場合には、iTunesファイル共有を使用して、コンピューターとiPadの間でファイルをコピーすることができます。

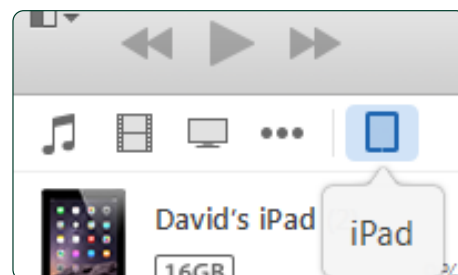
注: 2019年以降のMacはiTunesを使用しません。次のページの 9.1.1を参照してください。

iTunesを使用してコミュニケーションブックをコンピューターに保存する:

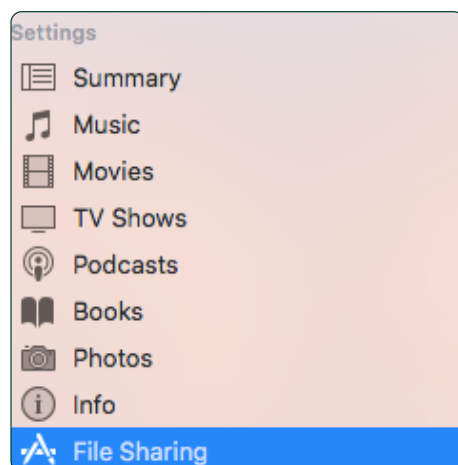
1. **GoTalk NOW** アプリを閉じます。USBポートを使用してiPadをコンピューターに接続します。
2. コンピューターでiTunesを開き、iTunesメニューバーからiPadを選択します。:例1
3. 設定リストの「ファイル共有」をクリックし、iPadアプリのリストを開きます。:例2
4. 「ファイル共有」の項目をスクロールし、表示されたアプリのリストから「GoTalk NOW」を選択します。コミュニケーションブックのリストが表示されます。バックアップするブックを選択して、コンピューター上のフォルダに保存します。:例3

Mac: ブックをフォルダにドラッグするか、「保存先」ボタンを使用します。

Windows: 「保存先」ボタンを使用します。



例 1



例 2

File Sharing

The apps listed below can transfer documents between your iPad and this computer.

Apps

Book Creator

GoTalk Now

GoWorksheet

Pages

GoTalk Now Documents

Camp Check-in.gotalk-book	Today 4:06 PM	20.1 MB
Good Things To Eat.gotalk-book	Today 4:00 PM	68 MB
Grocery Store Shopping.gotalk-book	7/21/2016 2:00 PM	232 KB
Healthy Food Choices.gotalk-book	Today 4:18 PM	12.2 MB
More Fruits and Vegetables.gotalk-b...	Today 4:15 PM	1.7 MB
My Vegetable Book.gotalk-book	Today 4:24 PM	1.7 MB

Add Folder...

Save to...

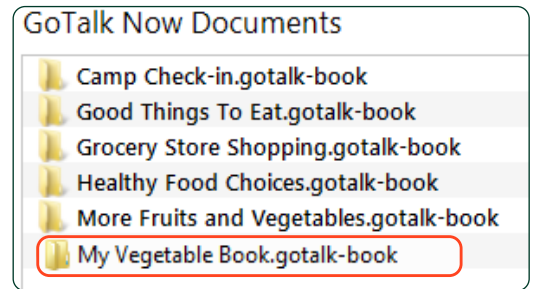
例 3



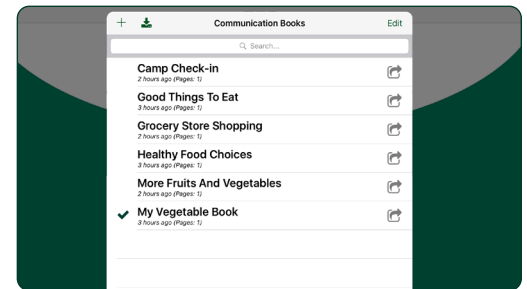
9.1 iTunesのファイル共有でコミュニケーションブックのバックアップ(続き)

iTunesを使用して保存されたコミュニケーションブックを復元する:

1. GoTalk NOW アプリを閉じます。USBポートを使用してiPadをコンピューターに接続します。
2. コンピューターでiTunesを開き、iTunesメニューバーからiPadを選択します。
3. 設定リストの「ファイル共有」をクリックし、iPadアプリのリストを開きます。
4. 「ファイル共有」の項目をスクロールし、表示されたアプリのリストから「GoTalk NOW」を選択します。
5. コミュニケーションブックフォルダを保存した場所からiTunesの「GoTalk NOW ドキュメント」リストにドラッグします。:例4
6. **GoTalk NOW** アプリを開きます。復元されたコミュニケーションブックはライブラリリストから利用可能になります。:例5



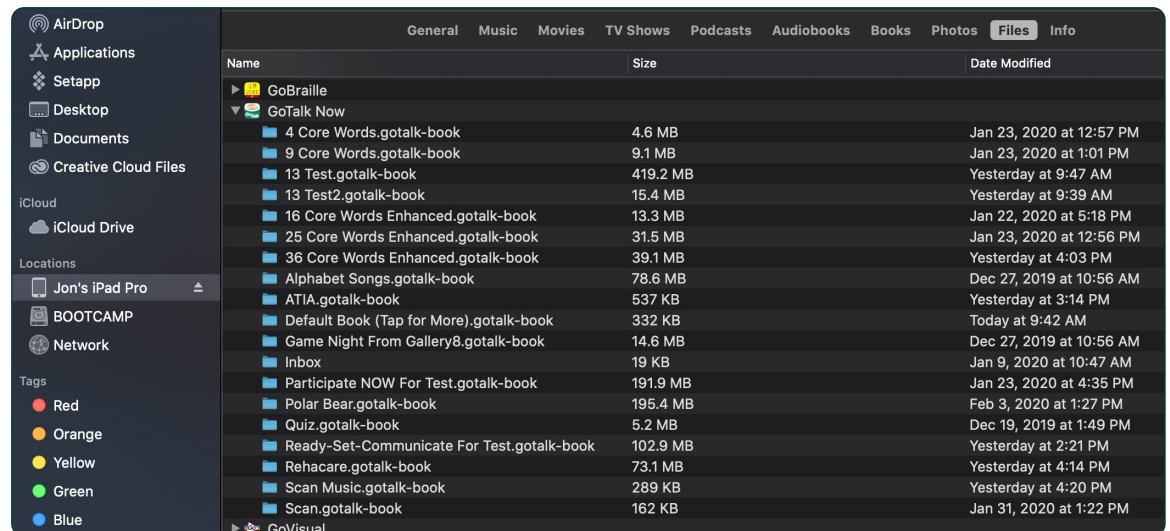
例 4



例 5

9.1.1 Finder経由でのコンピューターへのバックアップ

2019年以降のMacOSを操作している場合、iTunesは使用せずFinder  によってファイルを共有します。iPadをコンピューターに接続するとファイルの一覧が表示されますので、**GoTalk NOW** フォルダを探し、デスクトップにコピーペーストまたはドラッグしてください。



9.2 Dropboxでコミュニケーションブックのバックアップ

DropboxとGoogle DriveはGoTalk NOWに接続できるオンラインストレージサービスです。アプリは無料でiPadにダウンロードできます。ブックをバックアップする前にユーザーアカウントの設定をする必要があります。

DropboxまたはGoogle Driveを使用してコミュニケーションブックを保存する:

1. **GoTalk NOW** のホーム画面からブックタイトルをタップし、iPadに保存されているコミュニケーションブックのリストの中からバックアップするブックを選択します。
2. ホーム画面右下のバックアップ  ボタンをタップします。「コンピューターまたはDropbox? (Computer or Dropbox?)」という質問が表示されます。「Dropbox経由」もしくは「GoogleDrive経由」を選択して、バックアッププロセスを開始します。:例6
3. **GoTalk NOW**で始めてDropboxを使用する場合は、「Dropboxアカウントをリンク」をタップして、Dropboxアカウント情報を入力します。Google Driveを使用する場合は、Googleアカウントでサインインする必要があります。
4. ポップアップウィンドウからDropbox/Google Driveにバックアップします。:例7
5. 始めてDropbox/Google Driveフォルダにバックアップを追加する場合には、バックアップの名前を入力するよう求めるポップアップウィンドウが表示されます。既存の名前はそのままでも、変更してもかまいません。「作成」ボタンをタップしてバックアッププロセスを続行します。:例8



例 6



例 7



例 8

6. 他のDropbox/Google Driveバックアップがある場合は、新しいバックアップフォルダを作成するか、既存のフォルダを使用するかを尋ねるポップアップウィンドウが表示されます。既存のフォルダを使用すると、以前そこにバックアップされたブックが置き換えられます。フォルダ名をタップしてバックアッププロセスを開始します。「新規作成」ボタンをタップして別名のバックアップフォルダを作成し、「作成」ボタンをタップしてバックアッププロセスを開始します。:例9
7. アップロードが完了すると、Dropbox/Google Driveストレージフォルダ内の「Apps/GoTalk NOW」セクションにブックフォルダが表示されます。

DropboxまたはGoogle Driveを使用して保存されたコミュニケーションブックを復元する:

1. ホーム画面右下のバックアップ  ボタンをタップします。
2. コンピューターまたはDropbox?(Computer or Dropbox?)という質問が表示されるので、「Dropbox経由」または「Google Drive経由」をタップします。:例10



例 9



例 10

3. ブックを「バックアップ」または「復元」するか尋ねるポップアップが表示されます。「Dropboxから復元」または「Google Driveから復元」ボタンをタップします。**例11**
4. 「バックアップの選択」を求めるポップアップが表示され、Dropbox/Google Driveフォルダ内にある利用可能なブックの一覧が表示されます。ブックタイトルをタップすると、ダウンロードプロセスを開始します。ダウンロードが完了すると、ライブラリリストにブックのタイトルが追加されます。**例12**



例 11



例 12

9.3 その他クラウドへのバックアップオプション

コミュニケーションブックのバックアップと復元には、共有メニュー  からブックを圧縮し iCloud、OneDrive、Google Drive、Dropboxなどのストレージサイトに保存する方法もあります。

パソコンやストレージドライブに保存されたGoTalkブックファイルの拡張子は .gtbz (“GoTalk Book Zipped”)となり、フォルダにコピーやドラッグが可能です。

コミュニケーションブックの復元には:

- iPadでクラウドストレージアプリを開きファイルを選択し、隣接する3つの点または上部をタップし「〜で開く」もしくは「エクスポート」を探し、次に**GoTalk NOW**を選択します。
- AirDropもしくはemailでファイルを送信する。
- ファイル共有を使用する。(28-29ページ参照)

GoTalk NOW では、次の2つのスキャンモードで代替コミュニケーションをサポートします

- **オートスキャン:** 使用可能な表示されているボタンが順番にハイライトされます。1つのスイッチでハイライトされたボタンを選択することができます。スキャン速度は、画面を選択するたびに1～10秒の範囲で調整できます。
- **ステップスキャン:** ユーザーは、1つのスイッチでスキャンプロセスの動きを制御し、別のスイッチでハイライトされた選択肢を選択します。

スキャン/スイッチデバイスタイプ: アプリの設定で「スキャンデバイスタイプ」が「なし」に設定されている場合、スキャンはオフになります。スイッチデバイスのタイプが選択されている場合、スキャンはオンになります。

- Attainment Switch App (スイッチデバイスとして2台目のiOSデバイスを使用)
- Tilde/Number キースイッチ
- Space/Enter キースイッチ
- iPad画面をスイッチに



図 10-1 GoTalk NOW の代替コミュニケーションサポートには、スキャン/スイッチアクセスがあります。

オーディトリークュー: オーディトリークューは、スキャン中の各メッセージロケーションに対して、音声プロンプトを提供することができます。これを「聴覚スキャン」と呼びます。

グループ分け: ページ上のメッセージボタンの行または列を、スキャンプロセスに含めることができます。行または列を選択した後、その行または列の個々のセルをスキャンします。

エキスプレスバーをスキャン: (エキスプレスページの設定で) エクスプレスページを使用している場合、メッセージバーをスキャンの対象にするかしないかを選択できます。

ナビゲーションボタンをスキャン: プレーヤーのナビゲーションボタンをスキャンプロセスに含めることも除外することもできます。ページ移動を選択するには、ページ上のメッセージロケーションボタンに「ジャンプ」アクションを割り当てます。

スワップ機能: ステップスキャンを使用する場合、左右のスイッチボタンを「次へ」または「選択」機能として設定することができます。

Attainment Switchの設定: iOSデバイスでAttainment Switchを使用する場合、スイッチボタンの色の変更や、ボタンの外観に画像を使用するなどのカスタマイズが可能です。

ホーム画面で設定  ボタンをタップして、エディタ機能の有効化や、プレイヤー画面の表示を調整することができます。

PRIVACY (iPad内設定)

iPadのカメラ、マイク、およびフォトライブラリへのアクセスを許可または制限するための設定です。

写真: オン / オフ

マイク: オン / オフ

カメラ: オン / オフ

BUTTONS / ボタン

左右のナビゲーションボタン: オン / オフ

プレイヤー画面からナビゲーションボタンを非表示にすることができます。ページ移動アクションを「メッセージロケーション」に割り当てることにより、左右のナビゲーションボタンが画面から非表示になった際のページ送りの代替方法になります。

ホームボタン: オン / オフ

戻るボタン: オン / オフ

ジャンプボタン: オン / オフ

クイックボタン: オン / オフ

3本指スワイプの無効化: オン / オフ

オンにした場合は、ホームボタンを10秒間長押しすることでのみ、プレイヤーを終了することができます。

ホームボタンアクション: 最初のページに移動 / プレイヤーを終了

ホームボタンを使用して、ブックの最初のページに移動するか、プレイヤーを終了することができます。

PLAYER SETTINGS / プレイヤーの設定

再生中のボタン拡大: オン / オフ

メッセージロケーションのボタンを選択した際に、拡大表示することができます。

スワイプで左右ナビゲーション: オン / オフ

画面をスワイプしてのページ送り設定のオン、オフを切り替え可能です。

デバイスのスリープを防ぐ: オン / オフ

自動ロックのスリープモードのiPadの一般設定を上書きするには、このオプションをオンにします。

他のオーディオを停止: オン / オフ

この設定は、メッセージロケーションボタンがタップされたときに、他のオーディオソース(音楽、ビデオ)を再生しないようにするために使用します。

ボタンアクティベーションのタッチタイプ: タッチアップ / タッチダウン

ボタンタップ時のスクリーンタッチ設定は「タッチアップ」または「タッチダウン」のいずれかになります。

タッチアップ: 画面から指を離すとボタンが作動します。

タッチダウン: 画面に指が触れるとすぐにボタンが作動します。

オーディトリークュー: なし / 通常音量 / 小音量 / パン / プライベート

オーディトリークューは、ページまたはボタンに追加される予備的なプロンプトです。

通常音量: キューとメッセージは同じ音量で再生されます。

小音量: キューはボタンメッセージよりも小さい音量で再生されます。

パン: キューメッセージを右チャンネルに、ボタンメッセージを左チャンネルに送信します。

オーディオスプリッターを使用すると、スピーカーから他の音声を再生しながら、ヘッドホンにキューを送信できます。

プライベート: キューメッセージはiPadに接続されたヘッドホンから聞こえ、メインメッセージはiPadのスピーカーから再生されます。

空のオーディトリークューをスキップ: オン / オフ

オーディオキューを使用する場合は、この設定をオンにしてオーディトリークューのないメッセージロケーションボタンをシングルタップボタンとして機能させることができます。スキャンを使用する場合は、この設定をオフにしてください。

ナビゲーション/インターフェースのオーディトリークュー: オン / オフ

オーディトリークューは、プレイヤーのナビゲーションボタンに使用することができます。最初のボタンタップはボタン機能に関するキューが得られ、2回目のタップでボタンアクションが開始されます。

ナビゲーション／インターフェースのオーディトリークユーの設定: デフォルトの名前を使用するか、新しい名前を作成します。

ナビゲーションボタン用のオーディトリークユーはデフォルトのボタン名を使用するか、音声録音またはテキスト読み上げ用のツールを使用して変更できます。

プレイヤー終了時に必要なパスコード: オン / オフ

パスコードの設定: 4桁のアクセスコードの作成

使用中ブックを変換しない: オン / オフ

この設定はブックが新しい、もしくは古い世代のiPadから転送されるとき画像表示の問題のトラブルシューティングに使用されます。デフォルト設定はオフです。

キーボードページで予測を無効にする: オン / オフ

オンにすると、キーボードページに単語予測の選択肢が表示されなくなります。

ACCESSIBILITY / アクセシビリティ

デバウンス: なし / 1/4秒～10秒の設定値

デバウンスの設定により、指定した時間内に誤ってボタンを繰り返しタップしてしまうのを防ぐことができます。

SCANNING / スキャン

スキャンデバイスのタイプ: なし (オフ) / 使用するスイッチ方法の選択

GoTalk NOWのアクセシビリティサポートには、スイッチ使用時のスキャン動作が含まれています。4つのデバイスタイプの中から1つを選択して、スキャンをオンにします。

Attainment Switch App: iPhone, iPod touch, または他のiPadを1つのボタンまたは2つのボタンとして使用できます。このアプリは、iPadアプリのGoTalk NOWとBluetoothで接続し使用します

Tilde / Number Sスイッチ: コンピューターのキーボードの「チルダ (~)」キーと数字キーを利用したスイッチインターフェース システムです。

Space / Enter スイッチ: コンピューターのキーボードの「Enter」キーとスペースバーを利用したスイッチインターフェース システムです。

画面をスイッチ化: 自動スキャンを使用する場合、iPadがワンボタンスイッチに変わります。(ハイライトされた項目を選択するには、任意の場所をタップします。) ステップスキャンモードの場合、iPad画面が2ボタンスイッチに変わります。(左側をタップすると選択が進み、右側をタップすると選択されます。)

自動スキャン: オン / オフ (オフ = ステップスキャン)

この設定をオンにすると、シングルスイッチ機能を使用して画面上で順番にハイライトされるボタンを選択することができます。ステップスキャンと2スイッチ機能を使用するには、この設定をオフにします。左のスイッチで次の画面に移り、右のスイッチで選択を有効にします。自動スキャンまたはステップスキャンを機能させるには、スキャンデバイスタイプも選択する必要があります。

自動的にスキャンを開始: オン / オフ

オフにすると、スイッチがアクティブになるまで自動スキャンプロセスは開始されません。

自動スキャンスピード: スキャンの継続時間は1秒から10秒の間で選ぶことができます。

自動スキャンリピート: ページをスキャンする回数を選択します。

グループ化: なし / 行 / 列 / 行ごとに1/4 / 列ごとに1/4 / 行ごとに1/2 / 列ごとに1/2 / 行ごとに4つをスキャン / 列ごとに4つをスキャン

スキャンプロセスをカスタマイズして、ページボタンのグループを選択した後、グループ内の各ボタンをスキャンして選択することができます。

スワップ機能: オン / オフ

左スイッチと右スイッチの選択機能をスワップ機能で決定します。

オン: 右スイッチでスキャンを進め、左スイッチで選択を行います。

オフ: 左スイッチでスキャンを進め、右スイッチで選択を行います。

ナビゲーションボタンをスキャン: オン / オフ

プレイヤーのナビゲーションボタンは、スキャン／スイッチのプロセスに含めることも除外することもできます。

現在の位置から再開: オン / オフ

この設定は、スイッチの選択が行われた後、どこでスキャンプロセスを続行するかを決定します。

オン: 最後の選択からスキャンを再開します。

オフ: ページの先頭からスキャンを再開します。

Attainment Switchの設定: グリーン / オレンジ / イエロー / デフォルト

Attainment Switchアプリを使用する場合、スイッチプレートの色は、グリーン、オレンジ、イエロー、またはスイッチアプリが提供する外観を使用することができます。

TEXT-TO-SPEECH SETTINGS / テキスト読み上げ (TTS) の設定

レート: TTSのレートを、低速から高速のレートから選択します。

アカペラTTSボリュームブースト: なし / 微弱 / 中 / 強

EDITOR SETTING / エディタ設定

最後に使用したフォントで新しいボタンを作成: オン / オフ

EXPRESS PAGE SETTINGS / エクスプレスページの設定

エクスプレスバーの位置: 上部 / 下部

エクスプレスリピートの無効化: オン / オフ

オンにすると、エクスプレスバーからリピート(メッセージ)ボタンがなくなります。

新規ページをエクスプレスページとして作成: オン / オフ

再生時にTTSアイテムを組み合わせる: オン / オフ

エクスプレスページのテキスト読み上げメッセージは、通常の文章読み上げスタイル(オン)でも、単語単位(オフ)で読むこともできます。

単語の断片として組み合わせる: オン / オフ

テキスト読み上げの音声は、エクスプレスページの文字の組み合わせを単語として(オン)または個別の文字音として(オフ)再生できます。

右から左へ組み立て: オン / オフ

左から右(オフ)ではなく、右から左(オン)で読む言語にはこの設定を使用します。

追加時に再生: オン / オフ

この設定を使用すると、メッセージがエクスプレスバーに追加されたときに自動的に再生されます。

デフォルト機能: ユーザーがエクスプレスバーをタップした後にのみメッセージが再生されます。

スキャンエクスプレスバー: オン / オフ

この設定は、スキャンシーケンスにエクスプレスページのメッセージバーを含める場合に使用します。

VOICEOVER / ボイスオーバー

VoiceOverのヒントとしてオーディトリッキーTTSを使用: オン / オフ

画面のオーディオキューにiOSのアクセシビリティ機能を使用するには、オンにします。オーディトリッキーは有効なままですが、ページボタンのナレーションは再生されません。

VIDEO BUTTONS / ビデオボタン

代替インターフェース: オン / オフ

ビデオメディアアクションがメッセージロケーションのボタンに追加されている場合、iPadのビデオプレイヤーに表示されるコントロールは再生ボタンと終了ボタンのみに制限することができます。

動画のトリミング: オン / オフ

この設定をオンにすると、ビデオ編集ツールが使用できます。

ADMINISTRATIVE / 管理

プレイヤーの終了に必要なパスコードが利用できない場合は、以下の手順でアプリの設定にアクセスしてください。

1. GoTalk NOWを終了します。
2. iPadの設定ページを開き、「設定」タブをスクロールして「アプリ」リストを表示し、「GoTalk NOW」を選択します。
3. アプリの設定で「次回起動時にメインメニューに移動 (Go to Main Menu on Next Startup)」設定を見つけて、オンにします。
4. GoTalk NOW を起動しホーム画面の「設定」ボタンをタップします。
5. 「パスコードの設定」を使用して新しいパスコードを作成するか、「プレイヤー終了時に必要なパスコード」設定を使用してパスコード要求をオフにします。

次の起動時にメインメニューに移動: オン / オフ

インターネット検索を無効化: オン / オフ

EXPERIMENTAL FEATURES / 実験的機能

すべての画像を非表示 (テキストのみのボタン): オン / オフ

「メッセージロケーション」ボタンに割り当てられたテキストコンテンツのみ表示したい場合に設定します。

外部ディスプレイが表示されているときにタッチを表示: オン / オフ

オンにすると、画面を長押ししたときに半透明の青い円が表示され、選択したインターフェース項目がハイライトされます。これは、iPadがプロジェクターなどの外部ビューアーに接続されている場合にのみ表示されます。

Switchamajig Support: オン / オフ

Switchamajigは、iPadをスイッチユーザーのコントローラーとして使用したり、家電製品を制御するためのオープンソーステクノロジーです。

クイズサポート: オン / オフ

オンにすると、ボタンアクションの設定にクイズのオプション (正解、不正解、結果) が追加されます。また、「ページオプション」でページボタンのランダム化ができるようになります。

8つのクイックボタンを有効: オン / オフ

オンにすると、クイックボタン機能に8つの「メッセージロケーション」ボタンが表示されます。オフにすると、4つのボタンが表示されます。

Tactile Talk Support: オン / オフ

Attainment CompanyのTactile Talk Toolkitを使用すると、スクリーンオーバーレイ用の透明フィルムに物理的なオブジェクトが取り付けられます。オブジェクトはメッセージロケーションボタンの左側に配置されます。この設定をオンにすると、iPadの画面動作が変わり、ボタンの右側だけがタッチセンサー式になります。

GoTalk NOW ダウンロード

GoTalk NOW の追加アドオンは、メインメニューの**ダウンロード**  をタップすることで入手できます。

無料の**GoTalk Image Library**をダウンロードすると数百種類のシンボルイラストを使用することができます。ストアで購入するには、アドオンアイテムの横にある値札をタップするだけです。購入後、**ダウンロード**をタップして購入したアドオンをインストールします。**既製のコミュニケーションブック**をダウンロードしたら、タップして選択し、コミュニケーションブックのリストに追加します。



図 12-1 ダウンロードボタンはメインメニューにあり、無料またはアプリ内課金で利用できる、さまざまなリソースを提供しています。



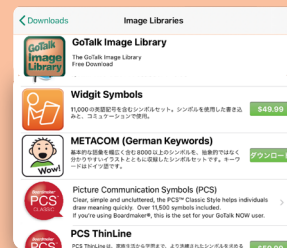
Core Words

無料の**Core Word**ブックは実地テストを行っており、生徒に言語教育を始めるのに最適です。



イメージライブラリ

GoTalk Image Library は **GoTalk NOW**に付属しています。**SymbolStix**、**Widgit Symbols**、**METACOM**、**PCS Symbol** ライブラリを使用して、画像の選択肢を広げることができます。



既成のコミュニケーションブック

コミュニケーションを始める場をお探しですか？ **Ready-Set-Communicate**、**Talk All Day**、**Participate NOW**、**AAC2go Girl**、**AAC2go Boy**、**AAC2go Teen**、**Tactile Talk** ですぐに始めることができます。この分野のAACのスペシャリストによって作成された、これらのコミュニケーションブックは、自分のニーズに合わせてカスタマイズできるようデザインされています。



テキスト読み上げ

多くの搭載された、または有料の音声を使用して、**GoTalk NOW** メッセージをカスタマイズすることができます。

VocaliD Personalized Voices. GoTalk NOWでVocaliDのパーソナライズ化された音声を使用するには、「**Available VocaliD Voice**」を選択して必要なユーザー名とパスワード情報を入力してください。パーソナライズされたデジタル音声の作成については、<https://vocalid.co> を参照してください。



お問い合わせ先

ご意見、ご質問は下記アドレスまでお願いします。



P.O. Box 930160 • Verona WI 53593-0160 USA

Contact us via email:
GoTalkNOW@AttainmentCompany.com
or call us:

U.S and Canada
(800) 327-4269

International
+1 (608) 845-7880

www.AttainmentCompany.com

Credits

Project Managers

Don Bastian
Joni Nygard

Project Programmers

Barrett Jacobsen
Seth Hartwick

Quality Assurance

Jon Karbo
Ali Schlimgen

Interface Graphics

Heidi Barnhill
Josh Eacret
Beverly Sanders

Content Development Team

Don Bastian
Craig Booth
Julie Denu
Autumn Garza
Seth Hartwick
Barrett Jacobsen
Jon Karbo
Scott Meister
David Nelson
Joni Nygard
Ali Schlimgen
Don Severson

Portions of the code were contributed by the following:

LightMenuBar	Haoxiang Li
ABPadLockScreen	Aron Bury
Enormego	
Cocoa Helpers	Enormego
SbTableAlert	Simon Blommegård
InAppSettingsKit	Luc Vandal & Ortwin Gentz
CMPOPtipView	Chris Miles
Asi-Http-Request	All-Seeing Interactive
SDWebImage	Olivier Poitrey
TouchJSON	Jonathan Wight
AQGridView	Jim Dovey
SVProgressHUD	Sam Vermette
UAModalPanel	Urban Apps